



大阪大学・科学記者クラブ 各位

公立大学法人大阪市立大学  
大学広報室

**「文学部を知りたい人のための市大授業」  
「数学と理科の好きな高校生のための市大授業」を開催します**

大阪市立大学は、平成24年4月29日（日）に文学部及び理学部において、高校生をはじめ大阪市立大学の授業に関心を持っている人々のための市大授業を開催します。また当日は、午後1時から5時まで、学術情報総合センターの内部を見学することもできます。

市大授業は、大学での授業の雰囲気や学内の様子を体験してもらい、最新の研究に興味を持っていただくとともに、高校での授業の学習意欲の喚起としていただくため毎年開催しています。

今回、文学部では、1時限目に教員による三種類の講義、2時限目に先輩学生と語らうフリートークを体験していただきます。理学部では、1時限目に教員による三種類の講義、2時限目に教員による二種類の講義を体験していただきます。どちらの学部でも、より多くの方々に関心を持っていただけるように、幅広いテーマで授業を開催させていただきます。

記

- 1 開催日時 平成24年4月29日（日）
- 【文学部】 1時限：午後1時00分～午後2時10分、  
2時限：午後2時20分～午後4時00分
- 【理学部】 1時限：午後1時00分～午後2時10分、  
2時限：午後2時40分～午後3時50分
- 2 会場 【文学部】大阪市立大学杉本キャンパス1号館  
【理学部】大阪市立大学 全学共通教育棟  
(JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車 徒歩8分)
- 3 内容 【文学部】
- 1時限：「グローバル化と現代世界の歴史」 野村親義 准教授（西洋史学）  
「大阪は100年前から国際都市だった!？」伊地知紀子 准教授（社会学）  
「古典文学における異界との交流」 小林直樹 教授（国語国文学）
- 2時限：「文学部学生とのフリートーク！」
- 【理学部】
- 1時限：「素因数分解と暗号」 古澤昌秋 教授（数学科）  
「レア・アースの化学」 篠田哲史 教授（化学科）  
「地球の磁場 — 25億年前から現在まで —」  
山口覚 教授（地球学科）

2時限：「ニュートリノという不思議な素粒子」

山本和弘 准教授 (物理学科)

「動物、そのからだと軸性」

水野寿朗 講師 (生物学科)

4 募集人員 各講義 100 名

5 参加費 無料

6 申込方法【文学部】

① ホームページからの受付 <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/sj/index.html>

② ハガキでの受付

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学文学部市大授業係  
氏名、年齢、所属 (学校名・学年)、受講したい科目名を明記のこと

【理学部】

① ホームページからの受付 <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/koudai/ocuclass/>

② ハガキでの受付

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学理学部支援室  
氏名、年齢、所属 (学校名・学年)、受講したい科目名を明記のこと

③ FAX での受付

FAX : 06-6605-2522

氏名、年齢、所属 (学校名・学年)、受講したい科目名を明記のこと

7 申込期間 平成 24 年 3 月 12 日 (月) ~ 4 月 23 日 (月) 午後 5 時まで

8 問合せ先 大阪市立大学文学部支援室 Tel : 06-6605-2350

Eメール : [sdjg@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:sdjg@lit.osaka-cu.ac.jp)

大阪市立大学理学部支援室 Tel : 06-6605-2500

<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/m/>

以上

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学

文学部支援室 担当：濱田

TEL : 06-6605-2350 FAX : 06-6605-2357

理学部支援室 担当：小倉

TEL : 06-6605-2500 FAX : 06-6605-2522

学術情報総合センター 運営課 担当：吉井

TEL : 06-6605-3220 FAX : 06-6605-3218

ひらけゆく世界 みえてくる人間

# 文学部を知りたい人のための市大授業

理学部市大授業も同時開催。学術情報センターも見学できます。

2012年4月29日(日)開催

主催：大阪市立大学文学部  
会場：大阪市立大学1号館  
対象：高校生・予備校生等  
定員：各講義100名  
参加費：無料



申込受付期間  
2012年3月12日(月)～4月23日(月) 午後5時まで

## グローバル化と現代世界の歴史



野村 親義 准教授



## 大阪は100年前から国際都市だった!?

伊地知 紀子 准教授



## 古典文学における異界との交流

『宇治拾遺物語』  
「こぶとり爺」を読む

小林 直樹 教授



2限は文学部生との  
フリートーク!

保護者の方の聴講も歓迎です

ひらけゆく世界 みえてくる人間

# 文学部を知りたい人のための市大授業

大阪市立大学文学部では、春と秋に「高校生のための市大授業」を開催しています。「大学ってどんなところだろう?」「文学部では何を学べるんだろう?」そんな思いのある人は是非いちど市大文学部を見に来てください。大学案内や受験情報だけではわからない「何か」がきっと体感できるはずです。



1限 午後1時00分～午後2時10分

野村 親義 准教授

グローバル化と現代世界の歴史

【講義概要】

グローバル化という言葉、みなさんもよく耳にするとおもう。グローバル化とは簡単にいうと、モノ、ヒト、お金が国境を越えて盛んに行き来することを意味します。このグローバル化が現在私たちの生活に大きな影響を与えています。「○○君の父親がインドに赴任することになった」「スーパーに東南アジア産の野菜がたくさんあった」などはその一例です。実は世界は、150年近く前ある意味現在と同じくらい大きなグローバル化を経験していました。「薩摩伝」の坂本龍馬の活動も、当時のグローバル化の中で起こった世界史の一幕といえるでしょう。この講義では、過去150年余のグローバル化の歴史を、貿易、資本移動、移民、国民国家などのキーワードを軸に、グローバル・ヒストリーという昨今世界的に注目される研究視座に配慮しつつ講じます。

伊地知 紀子 准教授

大阪は100年前から国際都市だった!?

【講義概要】

近年、日本では韓流が大ブームとなり、KARA や少女時代といった K-POP が高い人気を得ています。また、韓国語や韓国文化を学ぼうとする人びとも増えています。大阪のコリアンタウンでは、韓流グッズや韓国文化に関連する商品を売る店があちこちに見られるようになりました。生野区にあるコリアンタウンが世間の注目を集めるようになったのは、2002年日韓共催ワールドカップあたりからですが、商店街はもっと前からありました。そのルーツは、約100年前に朝鮮半島から来た人たちが生活を営むようになったことにある。今回の授業では、こうした朝鮮半島から日本への人びとの移動について社会学的視点から取り上げます。国際化や異文化理解、多文化共生を考えるきっかけを見つけることに繋がるといえるでしょう。

小林 直樹 教授

古典文学における異界との交流  
—『宇治拾遺物語』「こぶとり爺」を読む—

【講義概要】

誰もが子供時代に親しんだ「こぶとり爺」の昔話。そのもっとも古くはたの物語が鎌倉期の説話集『宇治拾遺物語』に収められています。しかし、そこに登場するのは良いお爺さんと悪いお爺さんというお馴染みの組み合わせではありません。では、一方のお爺さんだけが現に権を取ってもらえるという幸運にあずかれたほんとうの理由は何だったのでしょうか。この授業では、「異界との交流」という視点から物語を読み解き、その謎に迫ります。同時に、現代人が古典文学を読む意義についても考えてみたいと思います。

2限 午後2時20分～午後4時

文学部学生との  
フリートーク!

大阪市立大学が大好きで、文学部での学生生活を思いっきり楽しんでいる大学生がたくさん来てくれます。大学での勉強、クラブ活動、就職などについて最新情報を尋ねてみませんか。先輩と楽しく語り、大学生になった未来の自分を想像してみましょう。

(協力：大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構)

### 申込方法

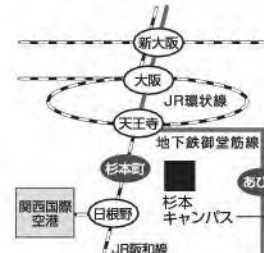
個人での申込または高校等からの一括申込を受け付けています。個人での申込は、受講希望者の氏名、年齢、所属(高校名、学年など)、受講したい科目名を明記のうえ、専用ホームページまたは葉書で受け付けます。

- ホームページからの受付 <http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/sj/> から申し込んでください。
- 葉書での受付 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 文学部市大授業係  
受講希望者の連絡先住所も明記しておいてください

■ 高校等からの一括申込は、上記ホームページから申込用紙をダウンロードしてファクスでお送りください。詳しくは上記ホームページをご覧ください。



携帯電話からも  
申込可能です



- JR杉本駅下車、車へ徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線あびこ駅下車、4号出口より南西へ徒歩20分

同日午後2時から5時まで  
「学術情報総合センター」(図書館)を見学できます。

会場

当日は、1号館(地図を参照)で  
12時から受け付けを開始します。

理学部市大授業も同時開催 (場所：大阪市立大学全学共通教育棟)

問い合わせ先 / 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部地域貢献推進委員会 [sdjg@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:sdjg@lit.osaka-cu.ac.jp)

地球の磁場  
25億年前から現在まで

素因数分解と暗号

ニュートリノという  
不思議な素粒子

動物そのからだと軸性

レア・アースの化学

理学部が行う高校生のための授業

数学と理科の好きな  
高校生のための  
市大授業

2012.4.29 日・祝

主催 大阪市立大学理学部

場所 大阪市立大学 全学共通教育棟  
大阪市住吉区杉本3-3-138(最寄駅 JR杉本町駅)

対象 高校生・予備校生

費用 無料

申込期間 3月12日(月)~4月23日(月)

前申込法 理学部ホームページより申し込むことができます。ホームページより申し込むことができない場合は、FAXによる申込も可能です。前半(午後1時から)と後半(午後2時40分からの)二つの授業を申し込む事が出来ます。申込人数が定員を大幅に超える場合、受講をお断りすることがあります。受講が不可能な場合に限り、4月27日(金)までにご連絡します。

URL : <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/koudai/ocuclass/>  
FAX: 06-6605-2522

問い合わせ先: 大阪市立大学理学部支援室 TEL: 06-6605-2500

(当日のお問い合わせはこちらまで >>> URL : <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/m/>)

文学部市大授業も同時開催



理学部が行う  
高校生の  
ための授業

数学や理科の好きな高校生や予備校生の皆さんに、数学や理科にさらに興味を持ってもらえるように企画した「高校生のための市大授業」です。大学の授業や大学の教室・実験室がどんなものなのか、進学を希望する大学の中を知っていただきたく、本学杉本キャンパスで行います。平成16年春から始まった市大授業も今回で15回目となります。日程は4月29日(日・祝)です。詳細は理学部ホームページに平成24年3月から掲載します。理学部市大授業と同日・同キャンパス1号館で、文学部市大授業「文学部を知りたい人のための市大授業—ひらけゆく世界—」も開催します。詳しくは、<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/sj/>をご覧ください。

4月29日(日・祝)

前半 午後1時~午後2時10分

以下から1つの授業を選択

素因数分解と暗号



数学科 教授 古澤昌秋

定員100名、講義

昨年度に引き続いての担当です。前回は欲張って内容を詰め込みすぎたので、今回は素因数分解とその応用に絞りました。素数というのは、1と自分自身しか約数をもたないような、1より大きな自然数のことを言います。素因数分解と一意性は、1より大きな自然数が素数の積にただ一通りに表されることを言います。与えられた有限個の素数の積を計算することは簡単ですが、逆に、与えられた自然数を素因数分解するには、多大な手間が必要になります。そしてこの事実が、現代社会に不可欠な「暗号」に使われています。私は暗号理論については素人ですが、自分もこの機会に勉強して、皆さんにわかりやすく説明できるように頑張ろうと思います。

レア・アースの化学



化学科 教授 篠田哲史

定員100名、講義

レア・アースは日本語では希土類と言い、アルカリやアルカリ土類と同じように、周期表の第3族の元素に対してつけられた名前です。高校の化学の教科書には登場しませんが、ハイテク元素として、日常の様々な製品に使用されています。本授業では、これらの元素のもつ面白い性質を紹介するとともに、電子配置との関係を通じて、少しだけ大学の化学をのぞいてみます。

地球の磁場—25億年前から現在まで—



地球学科 教授 山口 覚

定員100名、講義

地球に磁場(地磁気)が存在することは、磁針が北を指すことで広く知られています。この地磁気の大きさや方向は一定不変ではありません。数十万年という時間スケールの地磁気逆転から、数秒以下の短い時間での微小な変動まで、幅広い時間スケールで、そして様々な大きさで変化しています。この授業では、普段なじみの少ない「地磁気」にスポットを当て、いつ頃から地磁気は存在するのか?や、地磁気と日本の古い建築物との関係など地磁気に関連する多くの事例を紹介するとともに、それらが明らかになった進捗についても丁寧に話を進めていきます。

後半 午後2時40分~午後3時50分

以下から1つの授業を選択

ニュートリノという不思議な素粒子



物理学科 准教授 山本和弘

定員100名、講義

皆さんは「ニュートリノ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか?ニュートリノは、物質の最小単位である素粒子の一群ですが、他の物質と相互作用する強さがあまりに小さく、なかなか詳しい研究が難しいです。ところが、近年になって、ニュートリノを人工的にしかも大量に作り出す技術が発達し、だんだんとニュートリノの詳しい姿が明らかになってきました。するとニュートリノには、他の素粒子には見られなかった不思議な姿が現れてきたのです。また、宇宙の成り立ちにも非常に繋がりが深いことも分かってきました。この授業では、現代物理学が解明してきた素粒子の世界と、現在のニュートリノ研究の最前線をわかりやすく説明します。

動物、そのからだと軸性



生物学科 講師 水野寿朗

定員100名、講義

もし、われわれヒトと昆虫のからだは似ているかときかれたら、あなたはどっか答えます。ヒトには昆虫のような翅は無く、また昆虫にはヒトのような骨はありません。しかしどちらのからだにも前後左右の向きがあります。このような、動物のからだの一般的なつくりのことを体制とよび、方向性のことを軸性と言います。ヒトと昆虫の体制は異なりますが、軸性はよく似ています。では、ヒトとクラゲは似ているでしょうか?授業では、このような動物の軸性がどのように現れてきたか、その機能、発生、そして進化の観点から考えていきます。

当日は、「全学共通教育棟の1階正面」(地図の「理学部会場(全学共通教育棟)」参照)に、それぞれの授業開始時刻の20分前までに集合してください。

